

西脇病院病院説明



西脇市ってどこ？



兵庫県北播磨地域の北側、神戸市の北北東約50kmに位置しています。東経135度線、北緯35度線が交差しており、経緯度で日本列島の中心点に位置することにちなみ「日本のへそ」をキャッチフレーズにしています。

Wikipediaより

1. 病院の基礎データ

- 320床 19診療科
- 入院平均 275人/日 外来 530人/日
- 医療圏は 約8万人
- 地域の中核公立病院
 - ・競合病院が少なく、地域単一の総合病院
 - ・地域に病院を守るという考えが存在する『病院は地域の宝』
 - ・患者の権利意識で診療に困ることはあまり無い
- 少し離れれば、より高次の医療機関が存在する
 - ・地域完結型にこだわりすぎる必要がない

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-----------|--------------------------------|--|-----------------------------|--|---|
| 7:50-8:30 | 入院カンファ | 文献抄読会 | 入院カンファ | 症例検討会 | 入院カンファ |
| 午前中 | 病棟 | 病棟/外来 | 研修医 教育回診/ 腹部エコー | 病棟/ 救急車対応 | 病棟/上部 内視鏡 |
| 午後 | 病棟/気管 支鏡 | 病棟/下部 内視鏡、 ERCP等 | 病棟/ 心エコー | 病棟/心カ テーテル 血液カンファ 14:30-15:30 | 回診 13:30-15:00 透析・腎臓 カンファ 15:30-16:30 |
| 17:00- | 内視鏡/消 化器カンファ 17:30-18:00 | 癌化学療法 カンファ /Cancer board 16:30-17:00 | 研修医レク チャー 17:30-18:00 | | 糖尿病カン ファ 17:30-18:00 |

当院の内科の特徴

- よくある内科研修
 - 研修医は横断的であるが指導医は横断的でない
 - 各領域を順次ローテーションする



- 当院の内科研修

- 横断的マインドの指導医が多い
- 指導医に垣根がない
- 指導医も「万年研修医」のスタンスで自身の専門領域外も一緒に研鑽しながら診療を行う
- 『内科』研修中にすべての内科領域に関して平行して診療する



3.初期研修計画

1年目

| | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 内科(※1) | 必修(※2) | 選択科(※3) | 救急(※4) |
| 18週 | 4週×3 | 4週×2 | 12週 |

2年目

| | | | |
|------|---------|--------|--------|
| 地域医療 | 選択科(※3) | 必修(※2) | 内科(※5) |
| 4週 | 34週 | 4週×1 | 8週 |

(※1)内科…総合内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科等の内科全般

(※2)必修 …外科、小児科、産婦人科、精神科

(※3)選択科…整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科、救急、内科、外科、小児科、産婦人科、病理診断科の中から複数選択可能

(※4)救急 …4週まで麻酔科に振替え可

(※5)内科…総合内科での外来研修を含む

◆研修開始時に2週間のオリエンテーションを行う

◆精神科・地域医療は、協力型臨床研修病院・研修施設での研修となります。

◆ローテーション及び期間については希望により変更可能

ある初期研修医の内科における担当患者一覧 (2年間のうち内科は12か月)

| 疾患(臓器別) | 症例数 |
|---------|-----|
| 呼吸器 | 32 |
| 消化管 | 22 |
| 肝胆膵 | 18 |
| 代謝・内分泌 | 18 |
| 循環器 | 16 |
| 腎臓 | 14 |
| 感染症 | 13 |
| 神経 | 7 |
| 血液 | 7 |
| 中毒 | 4 |
| その他 | 4 |
| 計 | 155 |

・受け持ち患者数(平均5~10人/日)

・初期研修の間に、内科のすべての領域の症例を経験できる

◎ この研修医は 1年目:内科(6ヶ月)、救急診療部(3ヶ月)
産婦人科(1.5ヶ月)、麻酔科(1.5ヶ月)
2年目:地域医療(1ヶ月)、小児科(2ヶ月)
皮膚科(2ヶ月)、放射線科(1ヶ月)
内科(6ヶ月)

4. 当直・待遇など

- 初期研修期間中(2年間)は、一人主治医や一人当直はありません
 - ・副直が月3~4回
 - ・必ず常勤医が当直として院内におり、一緒に診察、指導します
- 官舎の提供あり
- 平日は主治医制・休日は当番制
 - ・そもそも平日のafter 5は遊べません(遊ぶところがない)
 - ・平日働いて、状況が許せば休日に街へ行くことも可能
 - ・大阪、神戸まで1~1.5時間です

派遣病院における県養成医師の役割、位置づけ、期待されていること、養成医同士の関わり合い

- ・ 多可町にある八千代診療所での診察
3年目以上の県養成医が主体、県養成医以外の医師も当番に入る
月、木、第一・第三土曜日
地域の患者さんを診るにあたり総合的な内科の診療能力が身につく

【県養成医師の位置付け・期待されていること】

- ・ 西脇市でも高齢者は多く、プロブレムはさまざまな領域にまたがる
- ・ 専門性、疾患に関わらず多数のプロブレムを抱える患者の診察

【県養成医師同士の関わり合い】

- ・ 内科、外科、整形外科など各科に養成医の先輩が勤務していることが多い
- ・ 担当患者について養成医の先輩には相談しやすい